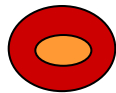


HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)とは?

糖の一部が血液中の赤血球の中にあるヘモグロビンと結合したものをHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)といいます。

HbA1cは赤血球の寿命(約120日間)が尽きるまで、血液中に存在しているため、約1~2か月間の血糖値の平均をあらわします。

糖 赤血球中のヘモグロビン HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)



糖と結合したままの状態に…

また、HbA1c値は検査直前の食事や運動などには影響されません。

HbA1c値の割合(%)が高いほど血糖値が高い状態が続いていたことをあらわします。

区分	正常	← 正常高値 境界型 →		糖尿病型
HbA1c (NGSP値)	~5.5%	5.6~5.9%	6.0~6.4%	6.5%以上
空腹時血糖値	100未満	100~109	110~125	126以上
随時血糖値	140未満	140~199		200以上

血糖コントロール目標

目標とする値は、年齢や合併症の状態、低血糖の危険性などにより、ひとりひとりちがいます。

目標	血糖正常化を目指す際の目標	合併症予防のための目標	治療強化が困難な際の目標
HbA1c	6.0%未満	7.0%未満	8.0%未満
	食事と運動療法で達成可能な場合の目標値 薬物療法中でも、低血糖などの副作用がない場合の目標値	合併症を予防するための目標値 空腹時血糖130mg/dl未満、食後2時間血糖値180mg/dl未満をおおよその目安にする	低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標値